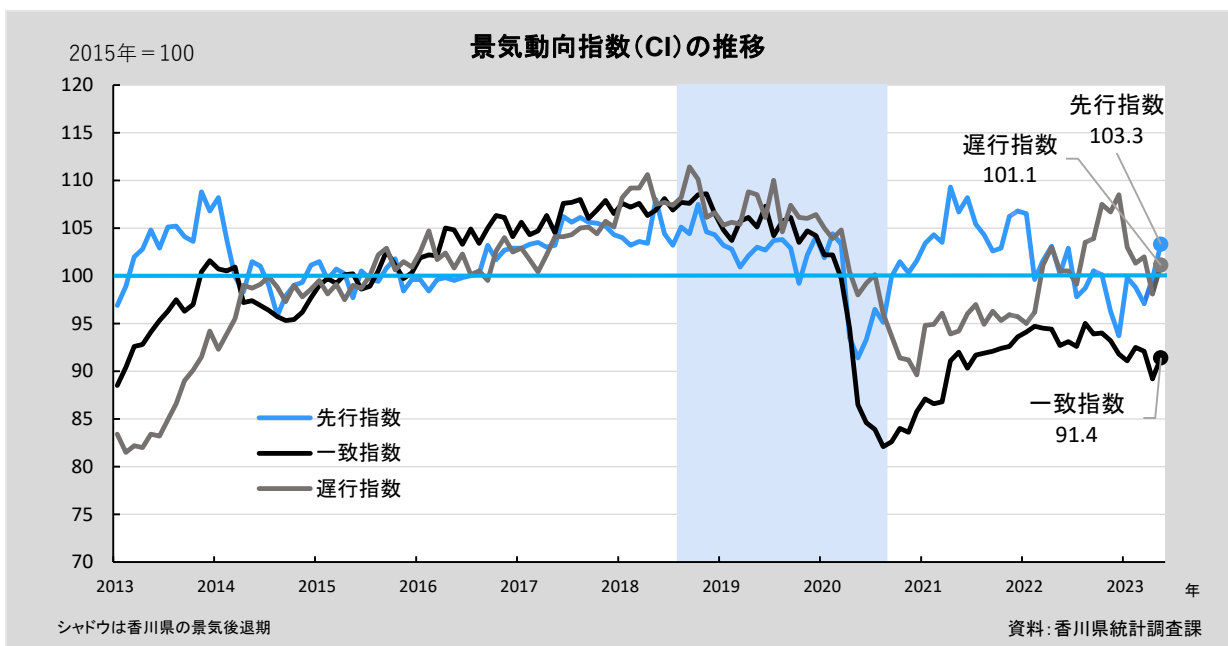


概況	景気は、緩やかに持ち直している。
個人消費	持ち直しの動きが続いている。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	横ばい圏内の動きとなっている。
生産活動	弱い動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 3カ月ぶり上昇



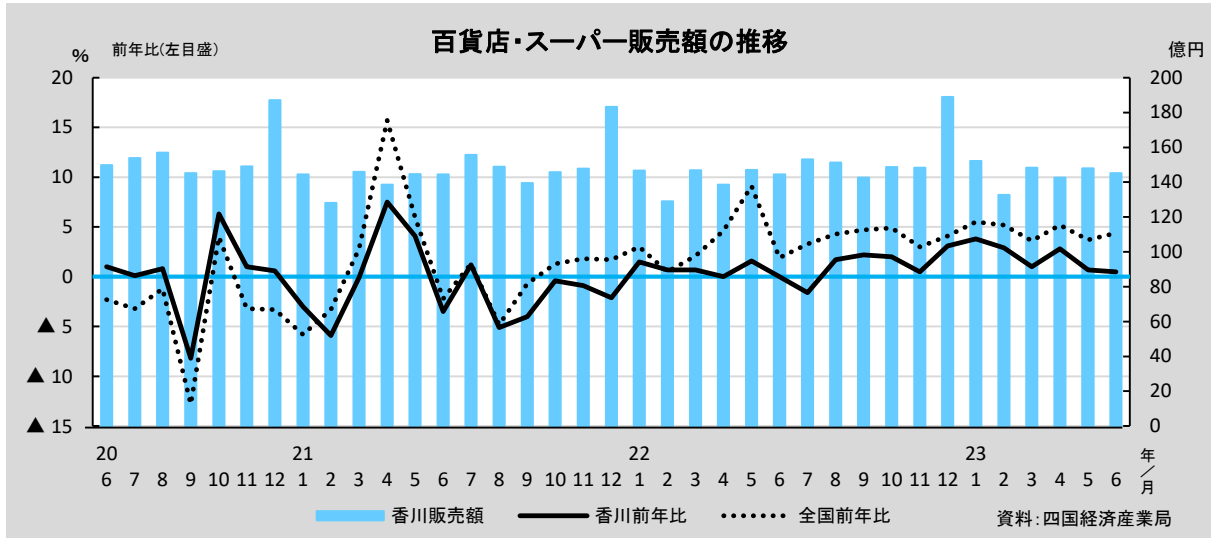
景気の現状をみると、5月のCI一致指数は91.4（前月比+2.2ポイント）と3カ月ぶりに上昇。CI先行指数は103.3（同+3.6ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は101.1（同+3.0ポイント）と2カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、雇用保険受給者実人員等が上昇に寄与したことにより、前月から2.2ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	1.46	1 雇用保険受給者実人員	0.51	1 常用雇用指数	0.00
	2 乗用車新車登録台数	0.61	2 有効求人倍率	0.18	2 有効求職者数	0.30
	3 鉱工業在庫率指数	0.35	3 所定外労働時間指数	0.23	3 消費者物価指数	0.91
	4 生産財生産指数	▲ 1.02	4 鉱工業生産指数	0.30	4 家計消費支出	1.14
	5 新設住宅着工戸数	1.47	5 鉱工業出荷指数	0.24	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.06
	6 金融機関貸出残高	0.47	6 建築着工床面積	1.11	6 法人事業税調定額	0.30
	7 消費者態度指数	0.42	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.40	7 第3次産業活動指数	0.61

●百貨店・スーパー販売額

11カ月連続増加 ↑

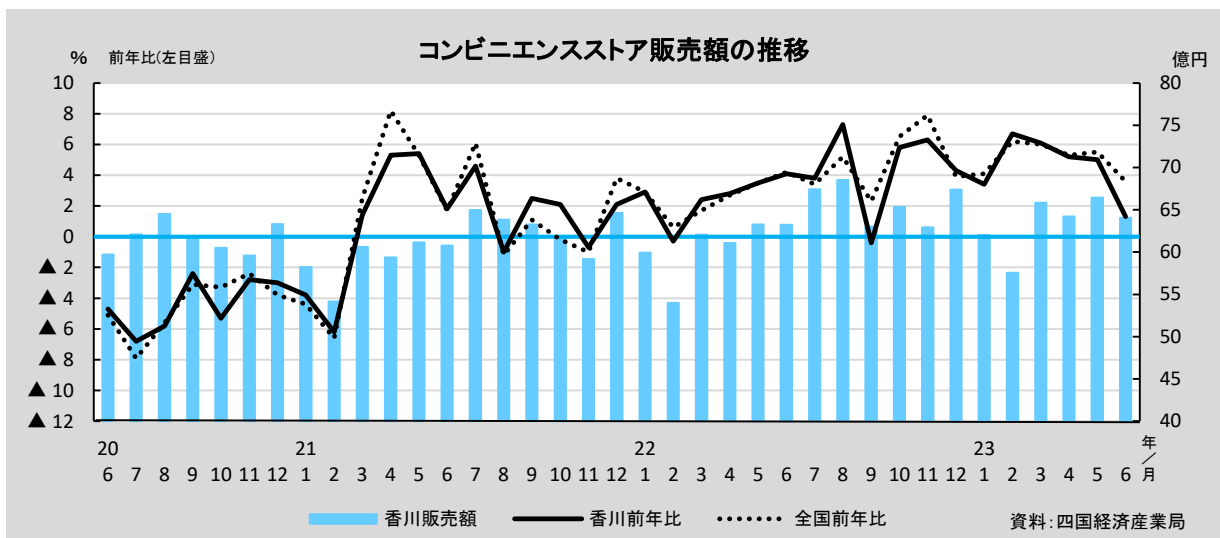


2023/6月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	112,463	64,405	1,056,418	2,659	6,541	66,149	143,764	432	1,452,831
前年同月比(%)	1.2	▲3.8	0.3	9.3	15.9	164.2	▲20.2	11.1	0.5

6月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は145.3億円で、前年同月比+0.5%と11カ月連続で増加した。中食需要の定着で「飲食料品」は同+0.3%、「衣料品」は同+1.2%と堅調に推移した。一方「身の回り品」は値上げの影響や前年の反動減で同▲3.8%となった。

●コンビニエンスストア販売額

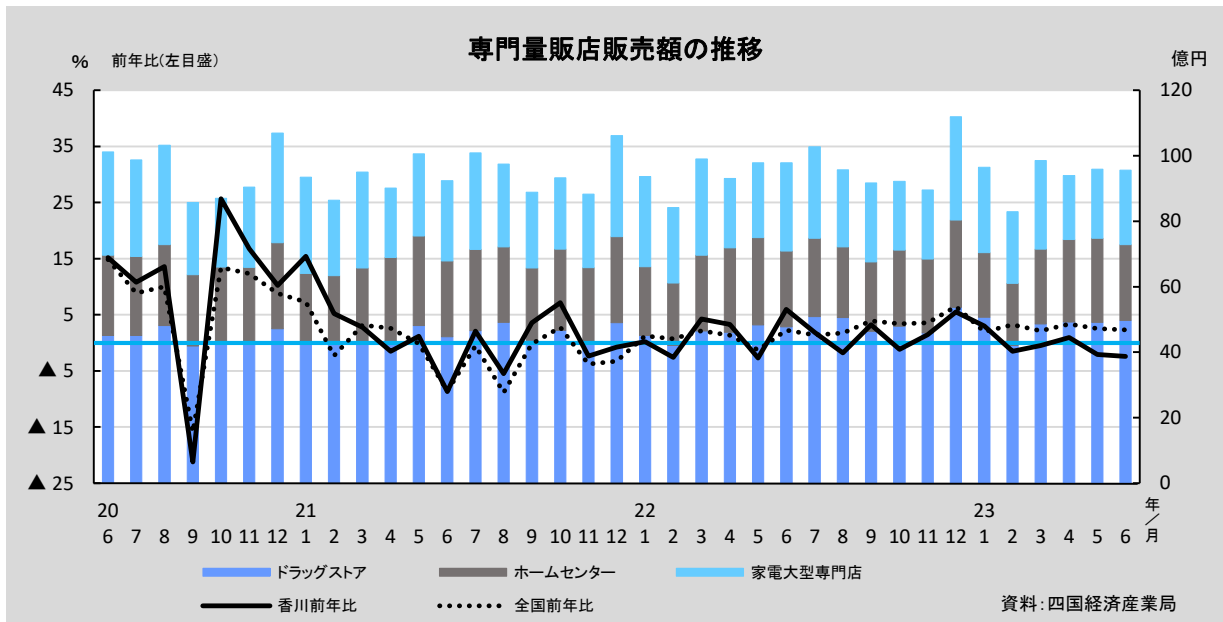
9カ月連続増加 ↑



6月のコンビニエンスストア全店(403店)の販売額は64.1億円で、前年同月比+1.3%となった。入店客数の増加、販売促進効果、商品価格の上昇などで販売額が増加したほか、フライヤー商品・おにぎり・総菜などが好調で、9カ月連続の増加となった。

●専門量販店販売額

2 カ月連続減少 ↓

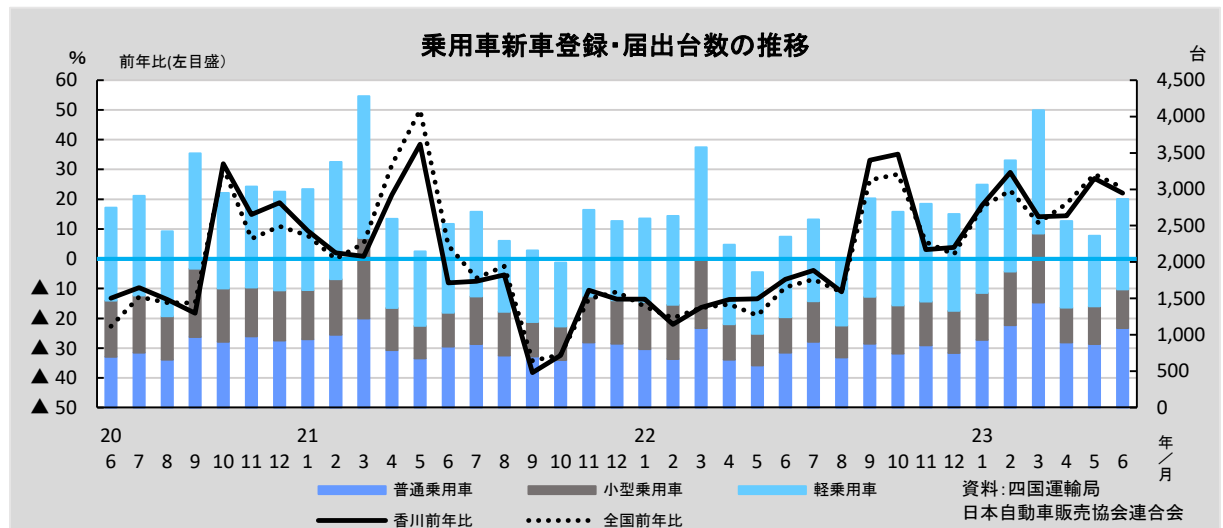


6月の専門量販店全店(213店)の販売額は95.6億円で、前年同月比▲2.4%と2カ月連続で減少した。

業態別にみると、**家電大型専門店**(29店)は、テレビの不振やエアコンの前年反動減で販売額は22.7億円で前年同月比▲16.1%、**ドラッグストア**(139店)は、冷凍食品などの食品や調剤医薬品が堅調に推移し、販売額は49.8億円で同+4.2%となった。**ホームセンター**(45店)は、入店客数の減少や、前年に価格上昇で売上が伸びた木材の反動減で、販売額23.1億円で横ばいとなった。

●乗用車新車販売台数

10 カ月連続増加 ↑



6月の乗用車(普通・小型・軽)新車販売台数は2,868台で、部品の供給制約が緩和し、前年同月比+22.1%と10カ月連続で増加した。

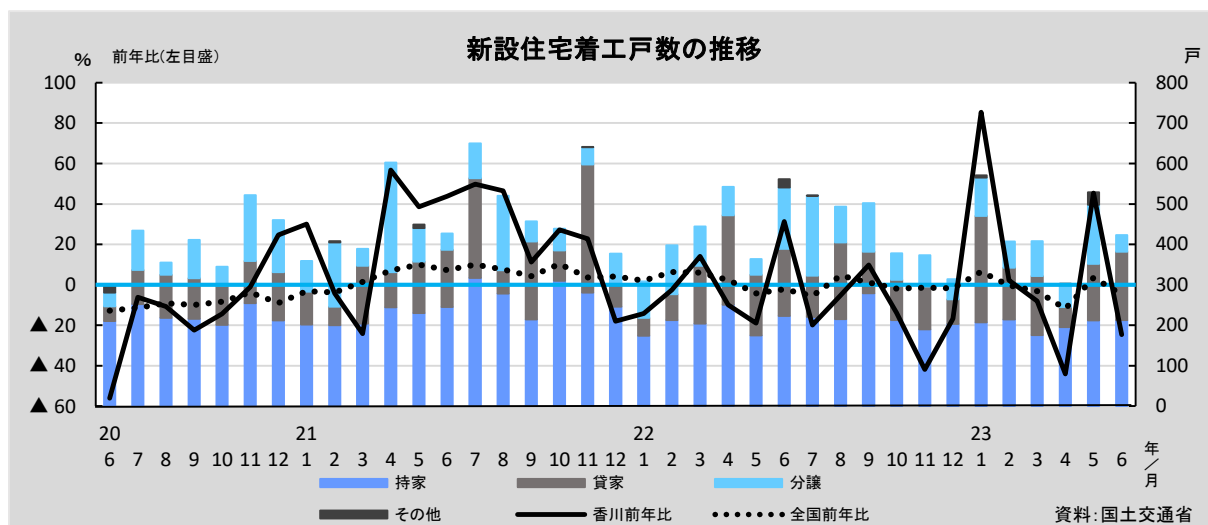
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+44.4%、小型乗用車で同+9.4%、軽乗用車で同+12.4%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2カ月ぶり減少 ↓



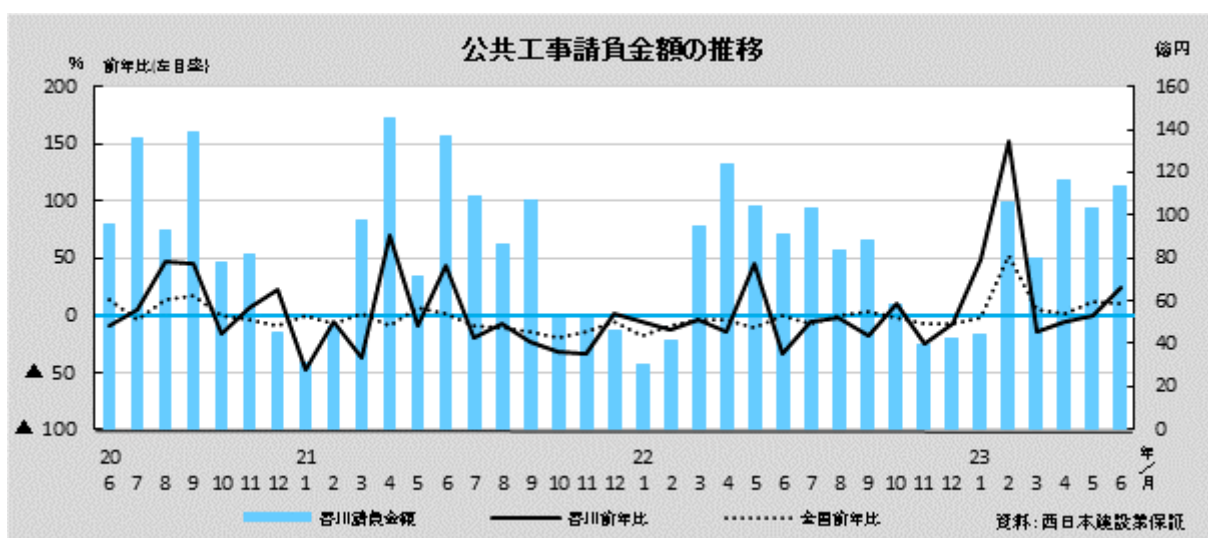
6月の新設住宅着工戸数は423戸で、前年同月比▲24.6%と2カ月ぶりに減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲4.5%、**貸家**で同+1.8%、**分譲住宅**で同▲73.0%となった。

公共投資

横ばい圏内の動きとなっている

●公共工事請負金額

4カ月ぶり増加 ↑



6月の公共工事請負金額は113.3億円で、前年同月比+24.3%と4カ月ぶりに増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+10.7%、**県**で同▲25.1%、**市町**で同+96.1%となった。

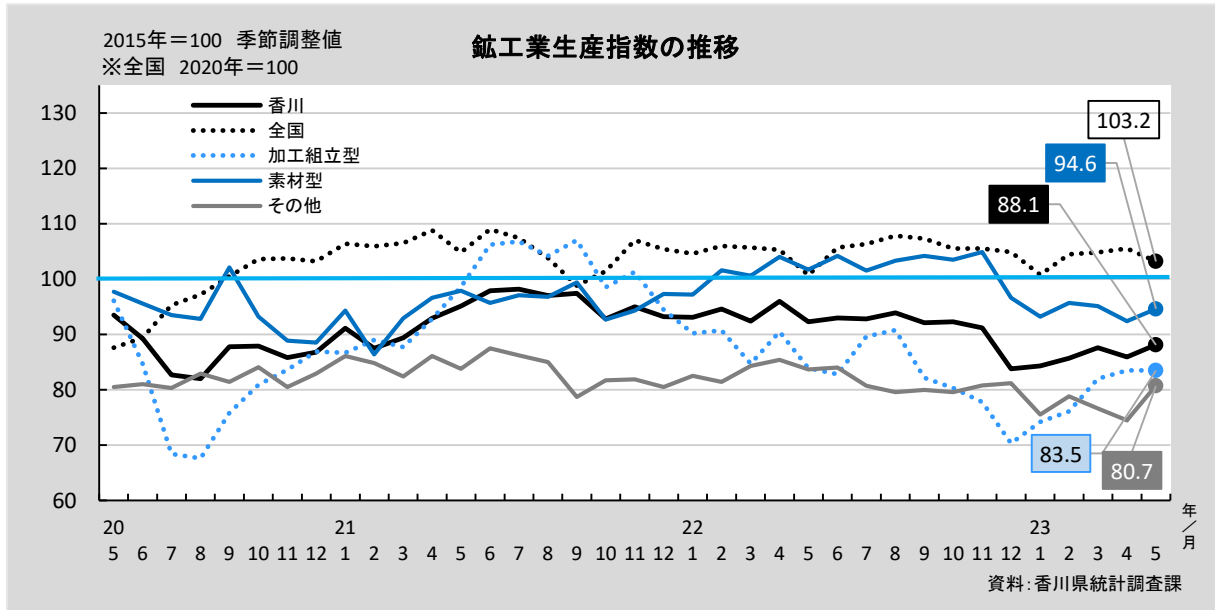
2023.4月～6月の累計では前年同期比4.6%増加している。

生産活動

弱い動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり上昇 ↑



5月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は88.1（前月85.9）となり、2カ月ぶりに上昇した。

業種別ではその他業種の食料品工業（食用油など）は前月比+13.3%、加工組立型の輸送機械工業（鋼船・船用ディーゼル機関など）は同+7.0%と上昇した。

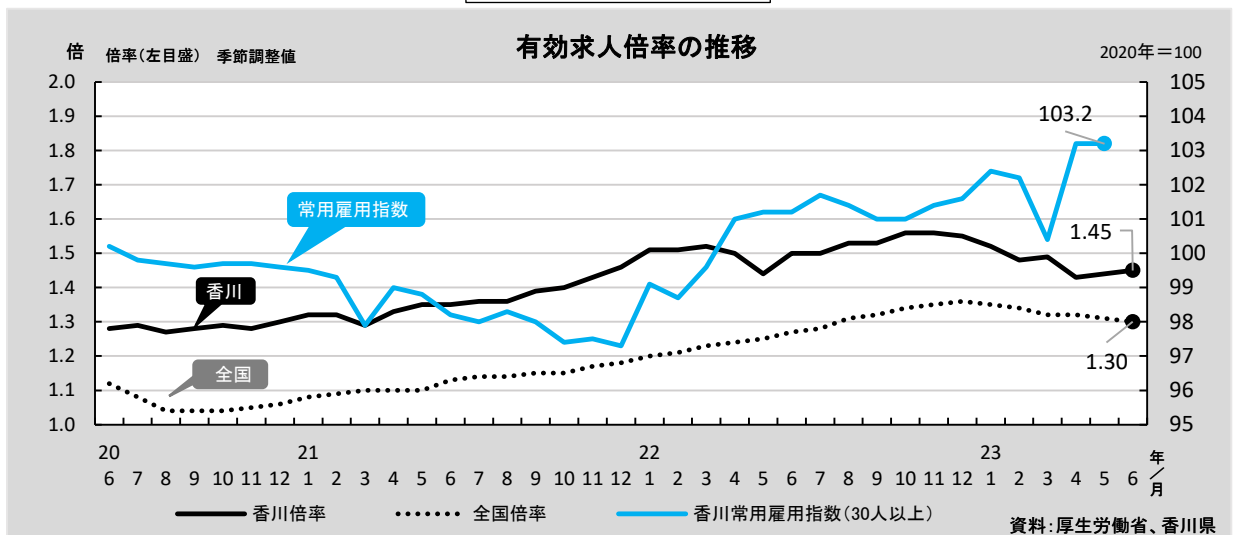
一方、加工組立型の電気機械工業（発光ダイオードなど）は同▲14.4%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2カ月連続増加 ↑



6月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.45倍（全国10位）と前月より0.01ポイント上昇した。

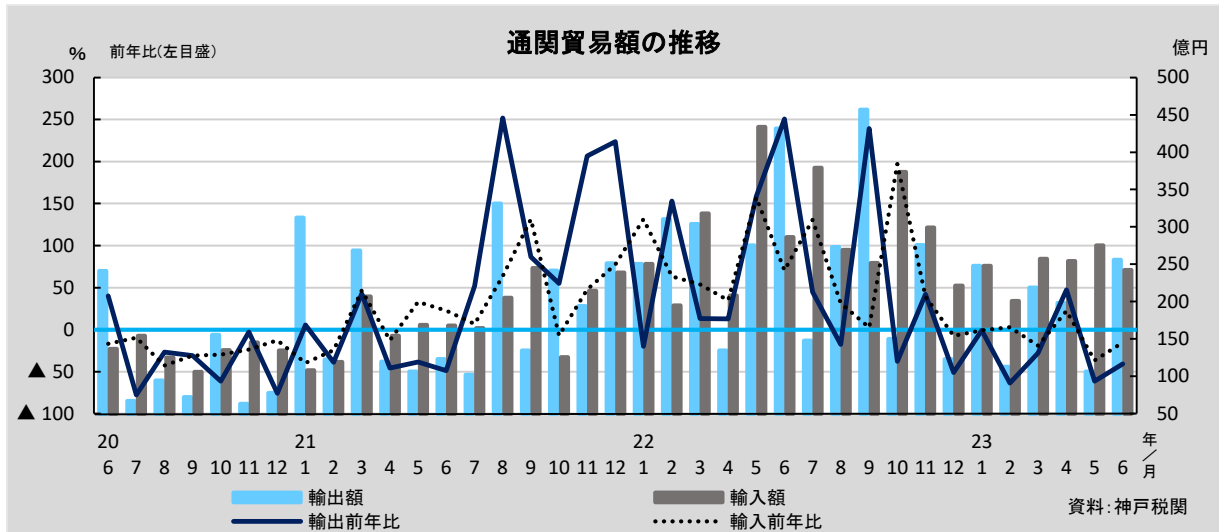
新規求人（原数値：前年同月比）は、学術研究・専門・技術サービス業、建設業、公務・その他、教育・学習支援業等で減少し、全体で▲7.3%と2カ月ぶりに減少した。

5月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.2となり、前年同月比は15カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業従事者	1.77
事務従事者	0.58
販売従事者	2.60
サービス職業従事者	3.18
生産工程従事者	2.22
輸送・機械運転従事者	2.07
建設・採掘従事者	6.25
運搬・清掃・包装等従事者	1.11

貿易

輸出、輸入ともに減少している



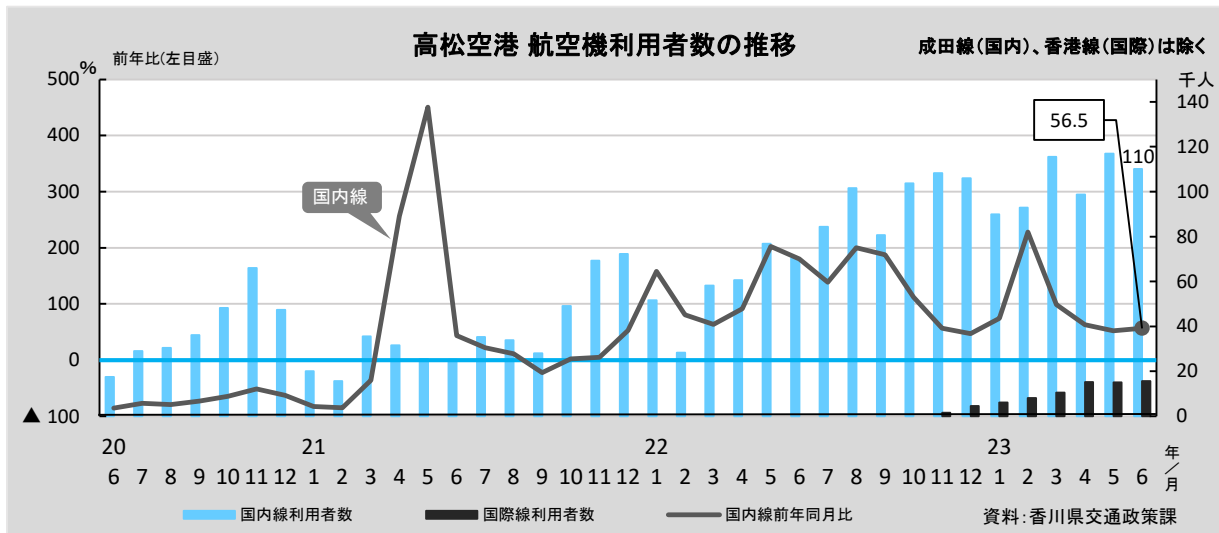
6月の輸出額は前年同月比▲40.8%の255.8億円、輸入額は同▲15.4%の242.1億円となり、差し引き13.7億円の出超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比▲80.2%の31億円となった。輸入は、前年同月50億円だった液化天然ガス輸入額がゼロとなった。

交通

国内線は21カ月連続増加、国際線は順調に増加

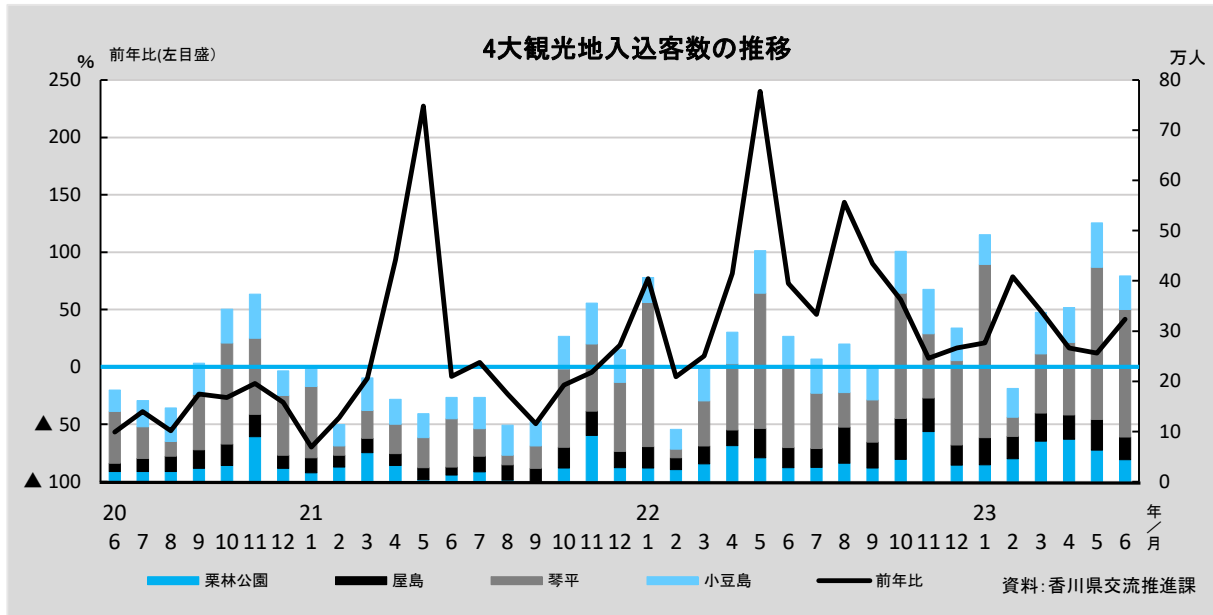
●高松空港旅客輸送実績



6月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が110,082人(前年同月比+56.5%)となり、21カ月連続で増加した。羽田線は101,841人(同+51.3%)、那覇線は8,241人(同+169.8%)となった。

国際線は、ソウル線が10,761人、台北線が4,837人で合計15,598人となった。国際線が再開して8カ月堅調に推移している。

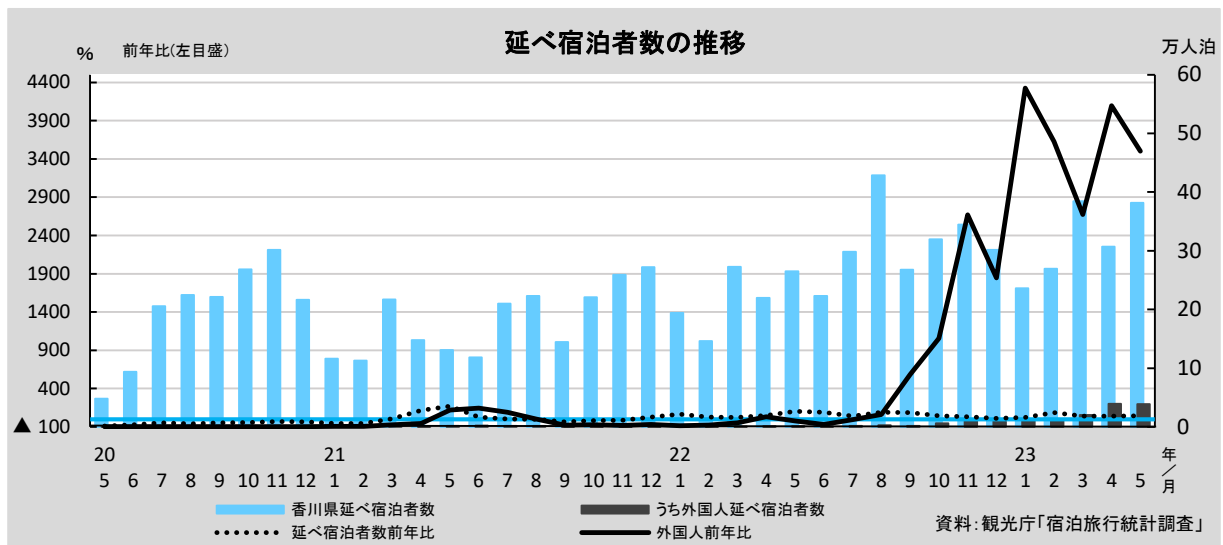
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
6月(人)	前年同月比	43,903	56.8%	44,805	12.3%	254,000	56.8%	66,913	12.1%	409,621	41.5%
1~6月累計(人)		351,761	50.1%	308,662	33.4%	1,202,000	25.6%	425,028	17.4%	2,287,451	28.2%

6月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+41.5%と16カ月連続で増加した。コロナ禍の行動制限緩和により人流が回復し、栗林公園は前年同月比+56.8%、屋島は同+12.3%、琴平は同+56.8%、小豆島は同+12.1%と全てが大幅に前年を上回った。1~6月の累計では前年比+28.2%となった。

●延べ宿泊者数



5月の延べ宿泊者数は381,700人で、前年同月比+44.1%と18カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比では▲8.8%となった。うち、外国人延べ宿泊者数は38,890人となり、前年同月比+3,500.9%と10カ月連続で増加した。2019年同月比では▲51.3%となった。